



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月30日

上場会社名 株式会社ファインセンター
 コード番号 5994

上場取引所 東・名

URL <https://www.fine-sinter.com>

代表者 (役職名) 代表取締役
 社長執行役員 (氏名) 井上 洋一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員
 経理部長 (氏名) 小林 努 (TEL) 0568-88-4355

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,746	△43.8	△1,717	—	△1,599	—	△1,272	—
2020年3月期第1四半期	10,233	5.4	216	△7.6	138	△36.2	0	△99.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △966百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 △218百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△289.22	—
2020年3月期第1四半期	0.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	46,316	17,182	32.6	3,435.40
2020年3月期	46,817	18,431	34.8	3,704.10

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 15,119百万円 2020年3月期 16,301百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,900	△32.4	△2,100	—	△2,000	—	△1,700	—	△386.28
通期	32,700	△18.9	△800	—	△500	—	△600	—	△136.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信【添付資料】P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期1Q	4,420,000株	2020年3月期	4,420,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2021年3月期1Q	19,035株	2020年3月期	19,035株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年3月期1Q	4,400,965株	2020年3月期1Q	4,401,035株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高は5,746百万円と前年同四半期に比べ4,487百万円(43.8%)の減収、営業損失は1,717百万円と前年同四半期に比べ1,933百万円の減益、経常損失は1,599百万円と前年同四半期に比べ1,738百万円の減益、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,272百万円と前年同四半期に比べ1,272百万円の減益となりました。なお、営業外収益として休業に伴う雇用調整助成金収入119百万円計上しております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①粉末冶金製品事業

自動車用部品につきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う、各国の操業規制や新車需要の低迷による自動車関連メーカー各社の操業停止及び稼働調整の影響等で大幅な減収(前年同四半期に対して、国内48.6%減、北米61.1%減、東南アジア62.6%減)となりました。当社グループとしては、休業及び稼働日振替等の稼働調整、省人推進及び固定費圧縮等に取り組みましたが、これを吸収しきれず、大幅な減益となりました。なお、中国子会社については期初から通常操業に戻っております。

鉄道車両用部品につきましては、新幹線用ブレーキライニング及び新幹線用すり板の搭載車両増加により売上増となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は5,387百万円と前年同四半期と比べ4,382百万円(44.9%)の減収となり、セグメント損失につきましては、1,302百万円と前年同四半期と比べ1,963百万円の減益となりました。

②油圧機器製品事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、画像診断機器用及び手術台用製品には特需があったものの、主力であるデンタルチェア用製品は、アジア・北米向けが大幅な落ち込みとなりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は355百万円と前年同四半期と比べ105百万円(22.9%)の減収となり、セグメント利益につきましては、67百万円と前年同四半期と比べ60百万円(47.1%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、現金及び預金の増加(前連結会計年度末比925百万円増)、受取手形及び売掛金の減少(前連結会計年度末比1,874百万円減)等により、17,038百万円(前連結会計年度末比973百万円減)となりました。固定資産につきましては、有形固定資産の増加(前連結会計年度末比83百万円増)、繰延税金資産の増加(前連結会計年度末比348百万円増)等により、29,278百万円(前連結会計年度末比472百万円増)となりました。

以上により、資産合計は46,316百万円(前連結会計年度末比500百万円減)となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債につきましては、支払手形及び買掛金の減少(前連結会計年度末比612百万円減)、電子記録債務の減少(前連結会計年度末比427百万円減)、新型コロナウイルスのリスクへの備えとして短期借入金の増加(前連結会計年度末比2,012百万円増)等により、19,421百万円(前連結会計年度末比875百万円増)となりました。固定負債につきましては長期借入金の減少(前連結会計年度末比151百万円減)等によって、9,711百万円(前連結会計年度末比127百万円減)となりました。

この結果、負債合計は29,133百万円(前連結会計年度末比747百万円増)となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が1,448百万円減少、その他の包括利益累計額が266百万円増加したことにより、非支配株主持分を除くと15,119百万円(自己資本比率32.6%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済への影響は、先行き不透明な状況が続くと予想されますが、現時点で入手可能な情報に基づき、業績予想をしております。国内及び東南アジアは第2四半期以降徐々に持ち直し、第4四半期には概ね回復、北米は第2四半期には概ね回復、中国は年度通して感染拡大以前のレベルで推移、通期の平均為替レート1USドル=107円という想定のもと、連結業績は、売上高32,700百万円(前年度比7,622百万円減)、営業損失800百万円(前年度比2,101百万円減)、経常損失500百万円(前年度比1,491百万円減)、親会社株主に帰属する当期純損失600百万円(前年度比1,152百万円減)を計画しております。

ただし、感染拡大第2波のリスクなど、今後の影響は現時点では予測できない状況となっております。

当社グループにおきましては、従業員感染防止策の継続をしつつ、足元の稼働調整や固定費圧縮と並行して、HV用インバーター部品の増産や生産拠点の集約による効率化、自動化による省人などを着実に進め、今年度下期以降の収益増につなげるべく、取り組んでまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,527,645	5,453,250
受取手形及び売掛金	6,618,879	4,744,190
電子記録債権	1,261,895	1,044,943
商品及び製品	1,153,928	1,089,123
仕掛品	1,629,031	1,642,388
原材料及び貯蔵品	2,530,884	2,648,710
その他	289,148	415,585
流動資産合計	18,011,414	17,038,193
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,475,651	13,575,448
減価償却累計額	△8,380,075	△8,503,239
建物及び構築物(純額)	5,095,576	5,072,209
機械装置及び運搬具	47,435,479	47,997,852
減価償却累計額	△35,167,862	△35,598,631
機械装置及び運搬具(純額)	12,267,616	12,399,220
工具、器具及び備品	5,783,991	5,981,502
減価償却累計額	△4,717,589	△5,000,487
工具、器具及び備品(純額)	1,066,401	981,014
土地	3,537,447	3,544,660
リース資産	1,165,193	1,265,371
減価償却累計額	△468,139	△501,218
リース資産(純額)	697,054	764,153
建設仮勘定	2,429,194	2,415,632
有形固定資産合計	25,093,290	25,176,891
無形固定資産		
電話加入権	11,407	11,407
リース資産	45,788	39,341
その他	344,588	335,478
無形固定資産合計	401,785	386,227
投資その他の資産		
投資有価証券	1,720,689	1,796,224
長期貸付金	8,264	7,494
繰延税金資産	1,486,242	1,834,256
その他	95,589	77,131
投資その他の資産合計	3,310,786	3,715,107
固定資産合計	28,805,862	29,278,225
資産合計	46,817,276	46,316,418

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,762,531	2,150,129
電子記録債務	2,635,904	2,208,377
短期借入金	7,065,378	9,078,025
1年内返済予定の長期借入金	1,813,115	1,784,446
リース債務	126,526	131,541
未払法人税等	234,171	65,098
未払消費税等	162,616	80,208
未払費用	643,865	616,636
賞与引当金	922,381	1,399,170
役員賞与引当金	46,593	5,320
設備関係支払手形	162,983	53,031
営業外電子記録債務	1,012,806	1,240,205
その他	957,583	609,665
流動負債合計	18,546,457	19,421,856
固定負債		
長期借入金	4,401,778	4,250,445
リース債務	669,716	733,987
繰延税金負債	24,755	24,507
役員退職慰労引当金	131,898	108,070
退職給付に係る負債	4,269,945	4,250,763
資産除去債務	340,799	343,974
その他	454	158
固定負債合計	9,839,348	9,711,907
負債合計	28,385,806	29,133,763
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,203,000	2,203,000
資本剰余金	1,721,609	1,721,609
利益剰余金	12,102,942	10,654,076
自己株式	△30,798	△30,798
株主資本合計	15,996,753	14,547,887
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	599,494	651,997
為替換算調整勘定	△143,536	41,536
退職給付に係る調整累計額	△151,087	△122,331
その他の包括利益累計額合計	304,869	571,203
非支配株主持分	2,129,847	2,063,563
純資産合計	18,431,470	17,182,655
負債純資産合計	46,817,276	46,316,418

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	10,233,980	5,746,471
売上原価	8,917,020	6,550,204
売上総利益又は売上総損失(△)	1,316,959	△803,732
販売費及び一般管理費	1,100,549	913,585
営業利益又は営業損失(△)	216,410	△1,717,317
営業外収益		
受取利息	4,133	2,765
受取配当金	31,856	28,489
為替差益	—	44,910
助成金収入	—	119,671
作業くず売却収入	7,682	4,086
雑収入	9,853	7,917
営業外収益合計	53,526	207,840
営業外費用		
支払利息	78,877	53,822
固定資産除却損	25,908	13,234
為替差損	23,110	—
雑支出	3,087	23,235
営業外費用合計	130,984	90,292
経常利益又は経常損失(△)	138,951	△1,599,769
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	138,951	△1,599,769
法人税等	102,643	△354,037
四半期純利益又は四半期純損失(△)	36,308	△1,245,731
非支配株主に帰属する四半期純利益	36,152	27,094
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	155	△1,272,826

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	36,308	△1,245,731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,356	52,503
為替換算調整勘定	△256,626	198,476
退職給付に係る調整額	2,849	28,673
その他の包括利益合計	△255,134	279,653
四半期包括利益	△218,826	△966,078
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△170,310	△1,004,895
非支配株主に係る四半期包括利益	△48,515	38,817

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報)

1. 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	総合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	粉末冶金 製品事業	油圧機器 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,769,774	461,217	10,230,991	2,988	10,233,980	—	10,233,980
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,769,774	461,217	10,230,991	2,988	10,233,980	—	10,233,980
セグメント利益	660,811	127,819	788,630	1,775	790,406	△573,995	216,410

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電および売電に関する事業です。

2 セグメント利益の調整額△573,995千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	総合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	粉末冶金 製品事業	油圧機器 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,387,768	355,750	5,743,518	2,952	5,746,471	—	5,746,471
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,387,768	355,750	5,743,518	2,952	5,746,471	—	5,746,471
セグメント利益 又は損失(△)	△1,302,292	67,581	△1,234,710	1,882	△1,232,827	△484,490	△1,717,317

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電および売電に関する事業です。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△484,490千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。